

事業番号	06 06 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	産業廃棄物適正処理推進事業	部局	環境部	課・室	資源循環推進課
		実施期間	S46 ～	E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 <長野県廃棄物処理計画（第5期）（案）>（※R2年度末を目途にR3年度を初年度とする計画策定中） 循環型社会の形成を推進するため、産業廃棄物処理業等の許可や産業廃棄物の排出抑制・資源化の促進により、産業廃棄物の適正処理と良好な環境の保全を図る。 ・産業廃棄物総排出量（令和7年度）：4,482千t	
	【これまでの取組】 ・産業廃棄物処理施設設置に係る現地調査及び審査の実施 ・産業廃棄物処理業等の許可に係る審査の実施 ・PCB廃棄物の期限内処理の推進	
令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	課 題	今後の方向性
	・高濃度PCB廃棄物の処分期限が近づいているが、処分が必ずしも円滑に行われていない場合も見受けられる。 ・産業廃棄物の排出量の削減が想定よりも進んでいない。 ・廃棄物関係業務（監視指導や許認可）は、法令等の専門知識を要する上、行政処分等の公権力行使する機会が多く、適正かつ慎重な事務処理が求められる。	・PCB掘り起こし追加調査により保有状況を把握し、期限内処理に向けた取組を実施。 ・長野県廃棄物処理計画に基づき、産業廃棄物を含めた廃棄物の減量化の取組を推進。 ・監視指導や許認可に係る現地機関の業務を県内10局から4局に集約化したほか、廃棄物等に係る立入検査・各種許可情報を一元化するシステムの導入により、事務の正確性の確保及び業務の効率化を実施。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ PCB廃棄物処理推進事業 ・PCB廃棄物の期間内処理に向けた啓発等の実施 ・北海道PCB廃棄物処理事業広域協議会への参加による適正処理の推進 ・PCB使用安定器フォローアップ調査の実施	<PCBが使用されている電機機器>  トランス (変圧器)	 コンデンサ (蓄電器)
	✓ 産業廃棄物適正処理の推進 ・産業廃棄物処理業等の許可に係る審査の実施 ・多量及び準多量排出事業者に係る計画策定指導 ・産業廃棄物処理実績報告の実施 ・処分場用地の適正な維持管理	 安定器	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値		前年度繰越	R1年度	R2年度
1	産業廃棄物総排出量	4,588千t (H29)	4,482千t (H30)	↑ 4,483千t (R1)	↓ 4,482千t (R2)	予算額 うち一般財源 決算額(B) 職員数(人)	0	0	要求 83,753 予算案 76,732
2							20,163	79,801	
3							0	0	
4							20,163	79,801	要求 83,753 予算案 76,732
5							1,121	70,277	要求 74,019 予算案 66,998
							17,424		
							20.0	20.0	20.0

成果指標設定理由	1 県内における産業廃棄物処理の状況を把握するための指標 ※長野県廃棄物処理計画（第5期：策定中）の目標値から算出
予算要求からの主な変更点	ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物処理推進事業について、過去の執行状況を考慮し、委託料を減額

事業番号 06 06 03 **事業改善シート（令和3年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	産業廃棄物適正処理推進事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課
-----	----------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	産業廃棄物適正処理推進事業費	20,163 千円	79,801 千円	要求 83,753 予算案 76,732 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	ポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄物処理推進事業	委託	PCB廃棄物等保有状況調査未回答事業所に対する再調査
2	阿智処分場用地の維持管理経費	委託	阿智村処分場用地の草刈り、除伐、伐採業務の実施【2回】